

UVニス

UV パックOPニス シリーズ

『UV パックOPニス シリーズ』は、油性インキ用上刷りニスとして開発した紫外線硬化型 OP ニスです。

■ 特 徴

- ▶ 下地が油性インキに使用した場合、印刷直後のベタつきが少なく、密着性に優れる。
- ▶ 耐乳化性に優れ、オフセット適性が良好である。
- ▶ 耐摩擦性、耐スクラッチ性能に優れる。
- ▶ 黄変が少ない。

■ 製品紹介

製品名	タック値	フロー値(mm)	特 徴
UV パック OP ニス SK-T	3.0 ± 0.1	40 ± 3	UV ハイブリットインキとの相性も良好
UV ドライパック OP ニス NK	3.2 ± 0.2	36 ± 5	乾燥した油性インキへの密着性良好
UV パック OP ニス NS	3.1 ± 0.2	40 ± 5	箔押し適正、糊付け適性が良好
No.3 UV ウェットパックマット OP ニス L	3.1 ± 0.1	36 ± 4	良好なマット感が得られる

TACK 値: インコグラフ、400rpm、水温 38℃、1分値

FLOW 値: スプレッドメーター、室温 25℃、1 分後の拡がり直径

■ 使用上の注意

- ▶ 下地油性インキの種類、OPニスの盛り過剰等の要因により、下地油性インキとの密着が悪くなる場合があります。(注: 印刷直後は完全には密着していません。)
- ▶ 非吸収紙(例:メタルホイル紙)では、油性インキ上で使用できません。裏付き、乾燥不良等のトラブルが発生します。
- ▶ 希釈剤は“UV Dグレジャー”を5%までの範囲で使用してください。使用条件によっては裏付き・乾燥不良等のトラブルが発生いたしますので、添加の際はご確認願います。
- ▶ 糊付け部分は、基本的に糊代が必要となります。箔押し適性はございません(UV パック OP ニス NSを除く)。
- ▶ 乾燥した油性インキ上には密着しませんのでオフライン用のニスとしてはご使用できません(UV ドライパック OP ニス NKを除く)。

- ▶ 記載のデータは、当社の試験方法による実測値であり、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するかを必ずご確認願います。なお、本文中の用途はいかなる特許に抵触しないことを保証するものではありません。
- ▶ 製品改良のため、予告なく内容を変更することがあります。
- ▶ 製品使用の際は、必ず事前に安全データシート(SDS)をご一読願います。

- ▶ 『UV パック OP ニス SK-T』使用の際は、一般UVインキ上のUV-OPニスとして使用することも可能です。
- ▶ 『UV ドライパックOPニス NK』印刷の際は、事前にスプレーパウダーを除去(粉取り)することをお勧め致します。多量のスプレーパウダーが残った状態でニスを印刷した場合、ブラン残りなどの原因になります。
- ▶ 『UV パック OP ニス NS』は、糊付け適性、箔押し適性を考慮した製品ですが、糊や箔の種類によっては、密着しづらいことがありますので、事前に確認をするようにして下さい。
- ▶ 『No.3 UV ウェットパックマット OP ニス L』を使用の際は、ニスの盛り量を少なくしたほうが強いマット感が得られますが、盛り量が少なくなり過ぎた場合には裏付き等のトラブルが発生します。また、下地油性インキの盛り量によりマット感が変化します。(下地油性インキ上のニスは経時によって、さらにドライダウンします。)
- ▶ 太陽光が当たる場所であったり、インキ壺の近いところに蛍光灯などが設置されていたりしますとニスが硬化しますので注意が必要です。
- ▶ インキ盛り過ぎやランプの劣化により、効果不良・密着不良が発生する可能性がありますので、ご注意ください。
- ▶ 助剤・洗浄剤・版材については、UV インキ用のものをご使用下さい。
- ▶ 火気に注意し、作業場は十分に換気し、紫外線や直射日光を避けて取り扱ってください。吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れない様に適切な保護具を着用ください。衣類などに付着した場合は、直ちにその汚れを落とし着替えて、汚れ部分が長時間接触することを避けてください。取り扱い後は、手洗いとうがいを十分に行ってください。
- ▶ 目に入った場合、直ちに多量の水で15分以上洗い流し、眼科医の手当を受けてください。皮膚に付着した際は、汚染衣服や靴等の汚れを落とした後も、付着部または接触部を石鹼水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流してください。もし、皮膚に炎症やかゆみを生じた場合には、直ちに医師の手当を受けてください。
- ▶ 本製品を御使用の際は、事前に安全データシート(SDS)を良くお読みください。



2022/02/08 No.W-1

- ▶ 記載のデータは、当社の試験方法による実測値であり、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するかを必ずご確認願います。なお、本文中の用途はいかなる特許に抵触しないことを保証するものではありません。
- ▶ 製品改良のため、予告なく内容を変更することがあります。
- ▶ 製品使用の際は、必ず事前に安全データシート(SDS)をご一読願います。